

過度な競争を激化させる 全国学力テストは無駄で有害な調査!

日弁連も「違法の疑いも」と意見書

4月22日に全国学力一斉テストが実施されようとしています。

市教委は11日の校長会議で、学校長に対して説明をおこないました。

全教豊中は、昨年から数回にわたってこの問題について市教委と交渉をもってきました。今回も改めて、一斉学力テストの問題点を指摘。市教委は、内部の検討委員会で検討した結果、

いろんな角度から意見が出されたが、「参加せざるを得

日弁連の意見書要旨

(1) 学校にテスト成績重視の風潮をもたらし、子どもが競争原理の中に組み込まれる

(2) 各地の学力テストで解答の改ざんや、障害児を受験させないなどの権利侵害が発生している一などの問題点を指摘

ない。「協力する」と結論を出し、08年度テストをすすめていこうとしています。

日本弁護士連合会(日弁連)から、懸念の意見書が文科省に出されています。昨年実施前から懸念されていたことが、07年度の実施で事実で明らかになっています。

全国そして、大阪でも 広がるテスト対策

(K市) 「学力調査」問題を全教職員に配布して、「対策プラン」カリキュラムづくり

(H市) 校長会で指導主事が「よく似た問題を繰り返し返しやっておけば点数は上げれる」

こんな「学力テスト」対策が全国で広がっています。

全教豊中が確認を求めたことに対して、市教委は次のように答えています。

- ・ 開示請求があっても、開示しない。
- ・ 教育課程に位置づけられない。
- ・ 教職員の理解と協力ですすめる。
- ・ 豊中市として、テストの対策プランなどおこなわない。

最後に、テストの中止を文科省に働きかけるように市教委に要請しました。

資料

学力テストと同様の実施要領で4~7月に全国で小5・中2全員を対象に行おうとしています。

豊中市は、小学校については実施しない。中学はすでに、体力テストを実施している学校のみとしています。



2008年4月22日
NO. 415

とよなか

全教豊中教職員組合

〒561-0874

豊中市長興寺南3-5-2

TEL (06) 6865-3190 FAX (06) 6865-3191

Eメール zenkyo-toyonaka@tcct.zaq.ne.jp

Web ページ

<http://www.tcct.zaq.ne.jp/zenkyo-toyonaka/>

09年度大阪府教員採用選考

要綱を公表

講師経験対象の特別選考の資格要件を常勤5年に短縮 採用予定数 前年度比 減

小学校 約1145名（前年1270名）
 中学校 約470名（前年500名）
 小中共通 約60名（前年約60名）

4月1日、府教委は09年度の受験案内を公表。

《常勤講師対象の選考》
 勤務経験を10年から5年に短縮。

常勤講師経験に着目した「特別選考」は受験資格において年齢制限が撤廃され、積極的な改善です。しかし、この選考による採用者数は全採用者のわずか3%であり、一般選考より倍率が高いという問題があります。経験年数の短縮は、特別選考の対象となる臨時教職員が拡大するという一定の前進面ですが、講師経験者の競争が激化し、経験ある臨時教職員を積極的に正規として採用するという本来の意義が弱められる危険性もあります。

《特別支援教育推進のための選考新設》

日	時間	場所	内容
4月28日 (月)	午後6時半 ～8時半	すてっぷ	合格体験談・ 個人面接
5月16日 (金)	午後6時半 ～8時半	すてっぷ	個人面接 集団面接
5月31日 (土)	午前10時～ 午後4時半	すてっぷ	教育法全般 講師 藤本敦夫氏 (大阪音大准教授)
6月6日 (金)	午後6時半 ～8時半	すてっぷ	集団面接について

全教豊中 08年

せんせいになろう学習会

「採用試験学習会」

昨年度に引き続き、学習会をおこないます。詳細は、別紙ビラをご覧ください。

参加費 無料

申込みは、全教豊中まで
 電話 F A X ・ メールで可
 電

新歓講座 08年度POWER UP講座 始まる

4月5日。すてつぷを会場に新歓講座・第1回POWER UP、「入門期の文字指導」をおこないました。



授業方法だけでなく、理科の授業とは、そして、すべての授業が子どもたちにとって、どうあるべきなのか広い観点から話されました。

午前中の一年担任を対象とした講座には用意したレジュメが足りなくなる予想以上の参加。実際に鉛筆の正しい持ち方や手先の使い方など学習をしました。午後からのPOWER UP講座では、クラスづくりに生かせるゲーム・レクを実践。ゲーム・レクを通して、子どもを見る、子どもの関係性をみる大切さを長谷川先生（南丘）が強調されました。

6月7日（土） 午後1時半 ～4時	国語講座 『作文と子どもたち』（仮題） 講師 土佐 いく子さん (なにわ作文の会)
10月25日（土） 午後1時半 ～4時半	算数講座 『わかる算数 たのしい授業パート3』 講師 何森 真人さん（数教協）
12月6日（土） 午後1時半 ～4時	特別支援教育・障害児教育講座 『人間をたいせつにする仕事』 講師 三木 裕和さん (出石特別支援学校)
1月24日（土） 午後1時半 ～4時	学級づくり・学校づくり講座 『悪い子なんか おれへん』 講師 葛目 巳恵子さん (堺市立小学校教諭)

POWER UP講座

今年も充実した内容

「理科は民主主義を教える」理科講座は、おなじみの三上周治さん（奈良教育大付属小）。楽しいものづくりとともに子どもたちがわかる教具の準備の大切さを、具体物を用意してわかりやすく話してくれました。



場所は未定です。

KYOKU K U 実践 学級事務

“ 集金はこれで！ ”

5分で集金、不足も点検！ ”

桜井谷東小 三輪 浩一

新学期的事務的な仕事に

追われて、教材研究が後回しになっていきます。年度初めのハンコおしなど何とかならないものかといつも思っています。

今年も年度初めから、健康センターの集金がありました。私は以前、集金するとき、職員室で袋からお金を出して金額を確かめるという方法をやっていました。

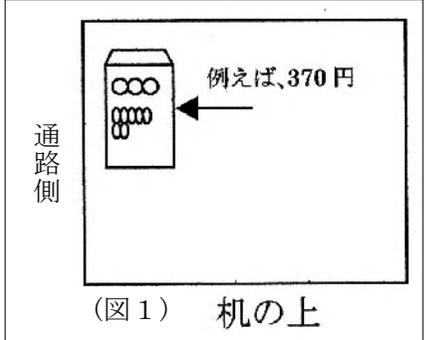
しかし、集金袋を集めて、あとから中のお金を確かめると、足りない場合、はじめからなかったのか、落ちてしまったのか？わかりません。

そこで、私は次のような方法で、その場で金額を確

かめています。

①朝、教室に上がったたら、集金袋からお金を出させる。

②机の上に集金袋を置いて、集金袋の上にお金を一目見たらわかるように置かせる。(図1) 袋は通路側に置くように指示しておく。



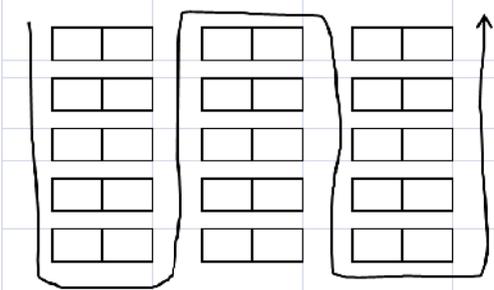
③机の上の金額を確認しながら、順々に子どものお金を回収する。この時、集金袋の上のつたお金を集金袋ですくいとって、お金を集金箱に(小さいお菓子箱みたいなもの)に入れていく。

④時々、お金が足りない子をこの時点で見つけて、不足分を後日もってこさせる。おつりのある子ども、この時点でチェックしておく。

職員室に戻ってから、時間をとって確認する必要がなくなりまし。超多忙な今日この頃、少しでも時間を効率的に使えたらいいですね。

集金の間、子どもたちは何をしているかという、プリントをさせたり、

答え合わせをさせたりして



机間巡視する動きで、集めていきます。

